



商品番号
ME180-S
DVD
VIDEO

脳卒中後遺症者への ニューロリハビリテーション

～ 急性期から回復期の麻痺改善を目指す徒手介介入 ～

【ME180-1】 ¥5,000+税
【ME180-2～4】 ¥8,000+税

全4巻
セット特価
¥25,000+税
(送料別)

第2弾



実技・解説

伊藤 克浩

山梨リハビリテーション病院リハビリテーション部 副部長、理学療法士
(公社)日本理学療法士協会神経系専門理学療法士
(社)日本ボース研究会会長、
IBITA/JBITA 成人中枢神経疾患上級講習会インストラクター

上肢機能の改善や
ADL障害に対する取り組みに
関してはコチラ

ジャパンタイムADL 検索

脳卒中後遺症者の
ADL障害に対するアプローチ
～PT・OT・STの協業を中心に～



姿勢コントロールを基盤とした 起居動作・歩行の再学習!

ME180-1 28min. ニューロリハビリテーション概論

ME180-2 72min. 臥位姿勢での介入と
寝返り・起き上がり動作の再獲得

ME180-3 47min. 座位姿勢での介入と立ち上がり動作の再獲得

ME180-4 89min. 二足直立姿勢での介入と歩行の再獲得

回復期リハビリテーション病棟において、日常生活機能評価の点数変化だけが追求され、非麻痺側への寝返りや非麻痺側からの起き上がり自立だけを目指すような練習しか行われていない施設が多いというのが現状です。

しかし、本来、寝返り・起き上がりなど姿勢変換に必要な姿勢制御機構は脳幹網様体から両側性に制御されている部分が多く、動作再獲得のためには、**早期から積極的に姿勢コントロールを意識した麻痺側への介入を行っていくことが重要となります。**

各巻の詳細は【裏面】へ

ご注文はジャパンタイム通販サイトから… www.japanlaim.co.jp/

サンプルムービー配信中

JLCジャパンタイム株式会社 TEL.03(5840)9980 FAX.03(3818)6656
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 本郷竹下ビル4F

ジャパンタイム リハビリ 検索

【お申込み・お支払い方法】○ご希望の商品番号を指定し、電話かハガキ、FAX、もしくはDVD通販サイトにてお申込みください。受注確認後3～6営業日後でお届けします。
○送料は1回につき500円+税。○到着日指定で「代金引換(手数料無料)」の宅配便でお送りします。○カード(VISA、MASTER、AMEX、他)もご利用できます(分割可も)。

2015.12

このDVDでは、起居動作や歩行の再獲得に必要なニューロリハビリテーションの基礎知識やハンドリングの一例をご紹介します。

片麻痺者における動作の困難性について、その理由をリーズニングするための知識や、姿勢制御機構の再構築化も含めた正しい情報を入力するための徒手介介入などについて、スライドや実技、症例の実例提示を交えながら詳しく解説しています。



【ME180-1】 ¥5,000+税

【ME180-2～4】 ¥8,000+税

全4巻
セット特価
¥25,000+税
(送料別)

ME180-1 ニューロリハビリテーション概論

28min.

中枢神経系は環境の変化に順応するための器官で、環境調整や治療的介入によって中枢神経系は変化するとされています。

ここでは、ニューロリハビリテーションの考え方、そして正常人における姿勢制御と先行随伴性姿勢調整について解説します。



ニューロリハビリテーションの考え方

- ◎中枢神経系の可塑性
- ◎臨床場面での脳卒中者は…

姿勢制御機構

- ◎姿勢制御の2つの機能
- ◎先行随伴性姿勢調整
- ◎外側皮質脊髄路と皮質 — 網様体 — 脊髄投射系

ME180-2 臥位姿勢での介入と寝返り・起き上がり動作の再獲得

72min.

背臥位は、いつでも抗重力方向への活動を起こせるような準備状態も兼ね備えています。ここでは、まず背臥位の特徴や背臥位からの活動に必要な要素を解説します。次に、中枢神経系に問題が生じた場合、どのような不適応がみられるかを解説し、寝返り・起き上がり動作再獲得のための介入方法を実技でお見せします。



背臥位姿勢の特徴と介入

- ◎体幹の特徴
- ◎背臥位からの活動に必要な要素
- ◎体幹のコントロールの強化

寝返り・起き上りの特徴と介入

- ◎急性期からの不適応
- ◎麻痺側への誘導
- ◎非麻痺側への誘導 …etc.

ME180-3 座位姿勢での介入と立ち上がり動作の再獲得

47min.

多くの片麻痺者の座位は、発症初期での低緊張を基盤として、麻痺側への重心移動に困難性を抱えています。

ここでは、片麻痺者における座位姿勢での問題点について考え、座位姿勢を安定化させるための介入と立ち上がり動作再獲得のための誘導方法を解説します。



座位姿勢の特徴と介入

- ◎座位姿勢が安定するためには
- ◎非麻痺側への重心移動の評価と介入
- ◎麻痺側への重心移動の評価と介入

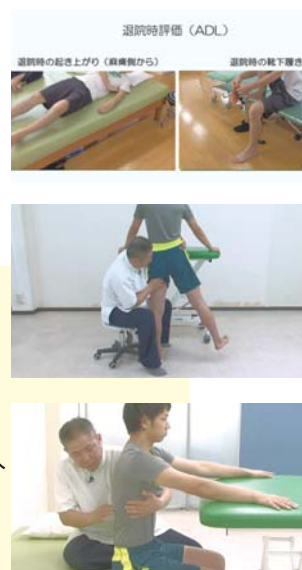
立ち上がり動作への介入

- ◎立ち上りの誘導のために
- ◎移乗動作 …etc.

ME180-4 二足直立姿勢での介入と歩行の再獲得

89min.

歩行再獲得のためには、歩行に必要な要素を段階を追って再学習していく必要があります。ここでは、リズムカルに歩くためのCPGへの働きかけを含めた、歩行再獲得のための治療戦略を解説します。さらに実際の症例で、入院時の評価から治療介入、自主トレーニングなどを経てどのような変化が現れたかをお見せします。



二足直立姿勢の特徴と介入

- ◎二足直立のために必要な要素
- ◎座位と立位の違い

歩行の再獲得のための治療戦略

- ◎Single leg standing
- ◎足底の機能
- ◎二足直立姿勢を安定させるための介入
- ◎CPGに働きかける歩行の誘導

症例にみる評価と治療介入

- ◎Case① 左放線冠梗塞後右片麻痺
- ◎Case② 脳梗塞後右片麻痺
- ◎Case③ 右被殻出血後左片麻痺・感覚鈍麻 …etc.

潜在能力を発揮させるために！
早期からの麻痺側への適切な介入！

商品詳細・サンプル
ムービー掲載中！

ジャパンタイム リハビリ 検索